



平成28年7月1日
東北大学災害科学国際研究所

**東北大学災害科学国際研究所
「平成27年度特定プロジェクト研究成果報告会」
を開催します（一般公開・申込不要）**

東北大学災害科学国際研究所では、「特定プロジェクト研究」として、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進しています。本報告会では、昨年度までに実施された「特定プロジェクト研究」の研究成果を報告させていただきます。

本報告会は、学内外・一般の方々と最新の知見を広く共有し、研究成果の社会への活用の増進、さらには研究の連携・融合を図ることを目的としています。つきましては、本報告会を市民の皆様へ幅広くご周知いただくとともに、当日はぜひご取材の上、紙面・番組等でご紹介させていただきますようお願いいたします。なお、ご取材にあたって事前のご連絡は不要です。

日時：2016年7月10日（日）9:00～16:30

会場：東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟（別紙参照）

申込：不要（どなたでもご参加いただけます。）

当日は11件の口頭発表、78件のポスター発表を行います。

プログラムの詳細は別掲資料をご参照ください。また、インターネットにも同様のものを掲載しています。（URL <http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum2016/20160710.html>）

- | | |
|-------------|--|
| 8:30 | 開場 |
| 9:00－9:10 | 開会の挨拶（所長・今村文彦） |
| 9:10－11:50 | 口頭発表（午前の部、6件） |
| 11:50－12:50 | 昼食休憩 |
| 12:50－14:00 | ポスターセッション・コアタイム（70分） ※発表者がポスターの前に立ってご説明します。 |
| 14:00－16:15 | 口頭発表（午後の部、5件） |
| 16:15－16:30 | 閉会の挨拶（副所長・奥村誠） |
- ※常設：ポスター

■お問い合わせ先

東北大学災害科学国際研究所

研究企画委員会 金曜フォーラム WG

担当：佐藤翔輔（助教）、稲葉洋平（助教）

TEL：022-752-2140、e-mail：forum@irides.tohoku.ac.jp

IRIDeS 金曜フォーラム
東北大学災害科学国際研究所
平成 27 年度特定プロジェクト研究成果報告会

東北大学災害科学国際研究所では、自然災害科学に関する世界最先端の研究を推進するために「特定プロジェクト研究」を募集し、様々な分野の研究を支援しています。本会では、昨年度に実施された研究の成果を下記の要領で報告いたします。

1. 日時

2016 年 7 月 10 日（日） 9:00～16:30

2. 会場

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟（P.8 参照）

3. プログラム

| | |
|-------------|--|
| 8:30 | 開場 |
| 9:00— 9:10 | 開会の挨拶（所長：今村 文彦） |
| 9:10—11:50 | 口頭発表（進行：小野 裕一、午前の部 6 件） |
| 11:50—12:50 | 昼食（会場は、大学生協・コンビニエンスストアから離れた場所に ありますので、各自ご持参いただくことをおすすめします。） |
| 12:50—14:00 | ポスターセッション・コアタイム（70 分） |
| 14:00—16:15 | 口頭発表（進行：村尾 修、午後の部 5 件） |
| 16:15—16:30 | 閉会の挨拶（副所長：奥村 誠） |

4. 報告形式

[拠点研究 A]：口頭発表

[拠点研究 B]・[連携研究]：ポスターセッション 12:50～14:00 コアタイム

※研究区分の説明

拠点研究：所内の教員が代表者となって推進する研究課題。A・B は予算規模の区分。

連携研究：所内の教員が代表者となって、他研究機関と連携して推進する研究課題。

口頭発表プログラム

(発表 20 分+質疑応答 5 分、1 階多目的ホール)

【午前の部】

9:10-9:35 A-1

災害を生きる力とは？—8 因子の認知脳科学的分析

人間・社会対応研究部門 杉浦 元亮

9:35-10:00 A-2

東北地方における歴史資料に基づいた学際的災害研究

人間・社会対応研究部門 蝦名 裕一

10:00-10:25 A-3

ゲームを用いた災害教育の開発とその国際応用-どこでも・だれでも・たのしくできる実践的防災学の展開

人間・社会対応研究部門 野内 類 (代理発表: 保田 真理)

10:25-10:35

(休憩 10 分)

10:35-11:00 A-4

フィリピンの Build Back Better に向けた復興支援・減災プログラムの開発・実装

人間・社会対応研究部門 井内 加奈子

11:00-11:25 A-5

糸魚川-静岡構造線活断層帯神城断層の地震履歴の解明

災害理学研究部門 遠田 晋次

11:25-11:50 A-6

東日本大震災メンタルヘルス・アーカイブ構築と「こころの防災」科学の確立

災害医学研究部門 富田 博秋

11:50-12:50

(昼食 60 分)

12:50-14:00

(ポスターコアタイム 70 分)

【午後の部】

14:00-14:25 A-7

被災地の女性が健康を維持するために: 子宮がん検診受診率回復への方策と、災害後起こり得る女性疾患の検証

災害医学研究部門 伊藤 潔

14:25-14:50 A-8

災害後に増加している小児アレルギー疾患の詳細な原因解明と効果的な介入方法の確立

災害医学研究部門 栗山 進一

14:50-15:15 A-9

防災教育国際協働センターを拠点とした地域に根差した防災教育モデルの創造

情報管理・社会連携部門 佐藤 健

15:15-15:25

(休憩 10 分)

15:25-15:50 A-10

石巻市(市街地部)の再・創生のための研究及び実践活動

情報管理・社会連携部門 小野田 泰明

15:50-16:15 A-11

第三回国連防災世界会議で策定される新たな国際防災フレームワーク「仙台防災枠組み・仮称」の実施にむけ災害研全体としての戦略を練り、実践的防災学の国際展開を支援する研究

情報管理・社会連携部門 小野 裕一

ポスター

(コアタイム：12:50～14:00 1階エントランスホール、セミナー室および2階演習室A)

【拠点研究B】

- B-1 モンゴル国におけるリアルタイム地震防災システム構築の技術支援
災害リスク研究部門 源栄 正人
- B-2 地震被害の悉皆調査結果に基づく建物群振動被害推定手法の再構築
災害リスク研究部門 大野 晋
- B-3 スマートデバイスを用いたリアルタイム構造振動計測手法の開発
災害リスク研究部門 王 欣
- B-4 国際比較検討による自然災害教育プログラム手法の提案と最適化
災害リスク研究部門 保田 真理
- B-5 最先端技術の統合による津波前後の土砂輸送および海浜回復過程の解明
災害リスク研究部門 有働 恵子
- B-6 三陸沿岸地域復興支援のための水産養殖システムの適正化
災害リスク研究部門 坂巻 隆史
- B-7 洪水氾濫計算モデルの途上国への即時適用フレームワークの開発
災害リスク研究部門 呉 修一
- B-8 Study and simulation of practical applications of unmanned aerial vehicle agents for disaster management
災害リスク研究部門 マス エリック
- B-9 地中レーダを用いた復興のための技術支援
災害リスク研究部門 佐藤 源之
- B-10 極限外乱を受ける建築構造物の各種剛性耐力劣化要因を考慮した地震時終局挙動の解明と耐震性能の高度化
災害リスク研究部門 五十子 幸樹
- B-11 遮蔽コンクリートのリスク評価体系構築に向けた基礎研究
災害リスク研究部門 鈴木 裕介
- B-12 津波石を用いた古津波規模推定法の検討
災害リスク研究部門 後藤 和久
- B-13 巨大地震・津波に伴う海岸砂丘形成作用の調査研究
災害リスク研究部門 菅原 大助

- B-14 波浪の良さと悪い影響：波力発電と台風の被害
災害リスク研究部門 ブリッカー ジェレミー
- B-15 台風による海岸付近波浪現象
災害リスク研究部門 ローバー フォルカ
- B-16 震災体験談の分析：何が語られ、何が記憶に残るのか
人間・社会対応研究部門 邑本 俊亮
- B-17 交通の途絶が災害化するメカニズムに関する調査研究
人間・社会対応研究部門 奥村 誠
- B-18 Investigation on Relief Preparedness for Changing Relief Urgency and Volatile Demand
人間・社会対応研究部門 ダス ルーベル
- B-19 歴史資料の活用を通じた被災地域の歴史文化的記憶の継承に関する研究
人間・社会対応研究部門 佐藤 大介
- B-20 災害関連資料の保存と活用に向けた実践的研究
人間・社会対応研究部門 天野 真志
- B-21 大学の業務継続計画（BCP）の策定・運用手法に関する研究
人間・社会対応研究部門 丸谷 浩明
- B-22 災害後のライフライン途絶による地域産業の経済波及影響評価
人間・社会対応研究部門 寅屋敷 哲也
- B-23 復興特需の終了を視野に入れた地域産業の革新
人間・社会対応研究部門 増田 聡
- B-24 東日本大震災からの復興まちづくり法制に関する研究
地域・都市再生研究部門 島田 明夫
- B-25 列島における津波碑の民俗学的研究
地域・都市再生研究部門 川島 秀一
- B-26 Post Disaster Housing Recovery Policy and Residential Relocation: An International Comparison of ongoing recovery in Tohoku after the Great East Japan Earthquake
地域・都市再生研究部門 マリ エリザベス
- B-27 住宅再建過程における地域資源の活用に関する研究
地域・都市再生研究部門 岩田 司
- B-28 国勢調査マイクロデータを活用したチェルノブイリ原子力災害被災地における人口動態分析
地域・都市再生研究部門 花岡 和聖
- B-29 被災後の都市・集落形態の変容に関する研究—コンパクト化？スプロール化？
地域・都市再生研究部門 姥浦 道生
- B-30 遡上津波と構造物の連成解析とその重層的見える化に関する研究
地域・都市再生研究部門 寺田 賢二郎
- B-31 高精度津波シミュレーションに基づく確率論的津波ハザード評価
地域・都市再生研究部門 森口 周二
- B-32 ヒトと機械が協調する遠隔操縦用インタフェースシステムの開発
地域・都市再生研究部門 永野 光

- B-33 東日本大震災における被害抑止効果と災害対応空間の体系化
地域・都市再生研究部門 村尾 修
- B-34 大地震に伴う活断層・火山周辺の地震活動変化の詳細な検討とモデル化
—東北地方太平洋沖地震および国内外の大地震を対象にした比較研究
災害理学研究部門 岡田 知己
- B-35 東北地方太平洋沖地震後の地震発生メカニズムの解明
災害理学研究部門 内田 直希
- B-36 火山体変形モニタリングに基づく噴火ポテンシャル評価手法の開発
災害理学研究部門 三浦 哲
- B-37 巨大地震に伴う火山活動変化の検討と活動モニタリング
災害理学研究部門 山本 希
- B-38 東北地方水蒸気噴火型火山の熱水輸送プロセスの解明
災害理学研究部門 市來 雅啓
- B-39 仙台平野南部の活断層と苦竹伏在断層との連続性について
災害理学研究部門 岡田 真介
- B-40 海洋表層の水温・塩分構造の変動とそのモニタリングに関する研究
災害理学研究部門 須賀 利雄
- B-41 非静力学数値予報モデルによる大雨・大雪災害に関する研究
災害理学研究部門 山崎 剛
- B-42 太陽高エネルギー粒子現象に関わる電波バーストの同定に向けた基礎研究
災害理学研究部門 三澤 浩昭
- B-43 地球超高層大気圏への高エネルギー粒子侵入に関する実証的研究
災害理学研究部門 土屋 史紀
- B-44 沖積層データの高精度化と数千～万年スケールでの地殻変動解析への適用
災害理学研究部門 丹羽 雄一
- B-45 東北地方太平洋岸における過去の巨大地震時の地殻変動検出の試み
災害理学研究部門 石村 大輔
- B-46 災害保健医療体制構築を支援するシステムダイナミクスシミュレーション開発
災害医学研究部門 江川 新一
- B-47 日本の医療機関における受援計画に関する調査
災害医学研究部門 佐々木 宏之
- B-48 敗血症におけるマトリセルラー蛋白質の役割について
災害医学研究部門 浩日勒
- B-49 災害医療時のX線撮影のための高電圧装置に関する基礎的検討
災害医学研究部門 千田 浩一
- B-50 非ステロイド性解熱鎮痛剤が放射線被ばくによる脳梗塞・心筋梗塞発症のリスクに及ぼす影響のin vivoでの検討
災害医学研究部門 細井 義夫
- B-51 放射線災害時におけるESRを用いた放射線被曝影響の基礎的研究
災害医学研究部門 稲葉 洋平
- B-52 震災ストレスが自律神経系および唾液の免疫系に及ぼす影響の包括的検討
災害医学研究部門 兪 志前

- B-53 妊娠中の災害ストレスが母子の精神神経疾患に及ぼす影響に関する研究
災害医学研究部門 笠原 好之
- B-54 震災ストレスの女性生殖器への影響：ストレス応答とエピジェネティクス
災害医学研究部門 三木 康宏
- B-55 被災地における国際標準化された災害時分娩取扱い教育プログラムの展開
災害医学研究部門 斎藤 昌利
- B-56 避難所モバイルアセスメントシステムにおける基盤開発
災害医学研究部門 中山 雅晴
- B-57 「地域包括ケアシステム」による災害対応地域コミュニティの構築
災害医学研究部門 小坂 健
- B-58 幼小児の脱落乳歯および成人の抜去歯を用いた内部・外部被曝歴の包括的評価
災害医学研究部門 鈴木 敏彦
- B-59 岩手県・福島県における震災アーカイブの構築支援及び自治体におけるアーカイブの
基盤技術の構築
情報管理・社会連携部門 柴山 明寛
- B-60 Japan and Indonesia Disaster Digital Archives Collaborations
情報管理・社会連携部門 ボレー セバスチャン
- B-61 参加型アクションリサーチにもとづく災害アーカイブ学の探索
情報管理・社会連携部門 佐藤 翔輔
- B-62 大災害被災地の学校における学校防災体制の強化に関する研究
情報管理・社会連携部門 桜井 愛子
- B-63 外部性を考慮したより柔軟なL1防潮堤の計画・設計論
情報管理・社会連携部門 平野 勝也
- B-64 地域の記録・継承の研究及び実践活動
情報管理・社会連携部門 小林 徹平
- B-65 先進的な統計手法を用いた 2011 年東北津波の被害関数構築とその応用アプリケーションの作成
寄附研究部門 サッパシー アナワット
- B-66 地域特性と避難課題に対応した津波避難プログラムの構築と実践
寄附研究部門 安倍 祥
- B-67 津波漂流物被害を考慮した確率論的津波リスク評価に関する研究
寄附研究部門 林 晃大
- B-68 多様な先端技術の巨大災害へ適用と地域社会へのリスク解析
地域・都市再生研究部門 イ ケリーン チョンヨン
- B-69 ニュージーランド・ヒ克蘭ギ沈み込み帯のプレート間相対運動の収支
災害理学研究部門 木戸 元之
- B-70 Porous body model による市街地を対象とした津波氾濫解析モデルの高度化
寄附研究部門 山下 啓
- B-71 熱水循環を考慮した沈み込み帯温度構造モデルの構築～地殻変動のより良い理解
のために～
災害理学研究部門 川田 佳史

【連携研究】

- 連-1 グローバル災害・防災研究に関する連携強化プロジェクト:英国大学との連携
地震津波リスク評価寄附研究部門 サッパシー アナワット
- 連-2 データ駆動科学による被災地動態の把握とマッピング
災害リスク研究部門 越村 俊一
- 連-3 新しい行動枠組みに基づく災害保健医療統計と国際災害医療教育の樹立
災害医学研究部門 江川 新一
- 連-4 タイにおける災害感染症と災害復元力形成の試み
災害医学研究部門 浩日勒
- 連-5 自然災害アーカイブの国際連携の強化と東日本大震災の震災記録の国際発信
情報管理・社会連携部門 柴山 明寛
- 連-6 被災地における「見える復興」広報活動の要件とは何かー東日本大震災における復興広報の
「受け手」の評価を通してー
情報管理・社会連携部門 佐藤 翔輔
- 連-7 災害発生に備えた文化財所在情報の集約に向けた国際比較研究
人間・社会対応研究部門 天野 真志

以上

会場案内

東北大学青葉山新キャンパス 災害科学国際研究所棟

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

※駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。

TEL : 022-752-2011 FAX : 022-752-2013

Eメール : forum@irides.tohoku.ac.jp

【市営地下鉄】

仙台駅から

仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園行き 「青葉山駅」下車

南1出口から徒歩約3分

【タクシー】

仙台駅からの所要時間：約20分

料金：約1,600円

※大まかな目安です。道路の混雑の状況などによって異なります。

青葉山新キャンパスへのアクセス地図

